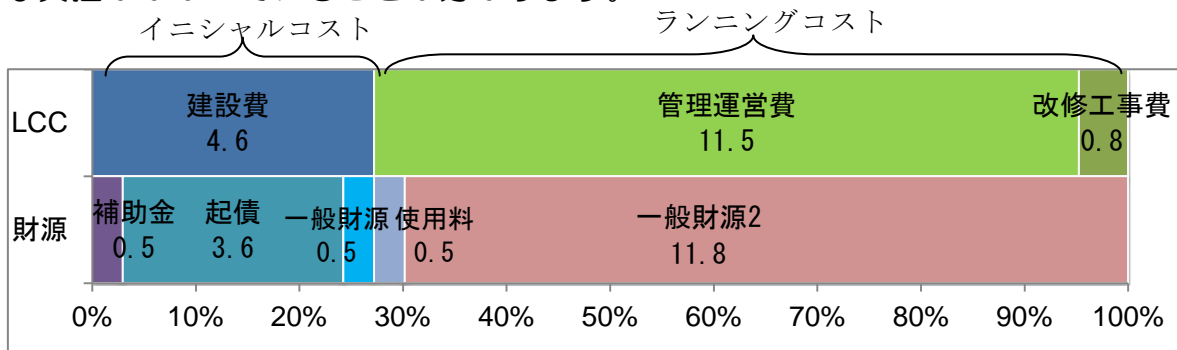




民間活力の導入

施設の整備を行ううえでは、必要な経費をトータルコストである「ライフサイクルコスト」(LCC)で考える必要があります。

LCCは、初期費用(イニシャルコスト)と運用費用(ランニングコスト)からなります。一時の負担が大きいイニシャルコストにばかり目が行きがちですが、ある施設のLCCを見ると、次の図のとおりランニングコストに大きな負担がかかっていることがわかります。



このLCCを圧縮する方法の一つに「PPP」(Public Private Partnership。公民連携)があります。PPPのいくつかの手法を紹介します。

① PFI (Private Finance Initiative。民設民営)

施設の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金及びノウハウを活用して行い、経費の削減や質の高い公共サービスの提供を目指すものです。

平成11年9月に、いわゆる「PFI法」が施行されて以来、自治体のほか、国の機関や病院、大学等を含めて、400件を超える事業がPFIにより実施されています。

この方式の採用に当たっては、VFM (Value For Money) ※の効果が見込まれることが第一条件になります。

PFIでは、民間資金を活用するため、その事業自体が資金回収の見込みのあるものかどうか、融資を行う金融機関によるチェックが行われます。

PFIは、その事業方式によりいくつかに分類されます。

ア BTO方式 (Build-Transfer-Operate)

事業者が施設を建設し、市に所有権移転して、事業者が管理運営する。

イ BOT方式 (Build-Operate-Transfer)

事業者が施設を建設し、管理運営して、事業終了後、市に所有権移転する。


- ウ **BOO**方式（Build-Own-Operate）
建てる - 所有して - 管理運営する
 事業者が施設を建設し、管理運営して、事業終了後、施設を撤去する。
- エ **RO**方式（Rehabilitate-Operate）
改修して - 管理運営する
 事業者が施設を改修し、管理運営する。
- オ **コンセッション**
 施設の運営権を事業者に付与し、事業者は利用料金等で採算をとり、市は運営権の対価を徴収する。

- ② **DBO**（Design-Build-Operate）方式（公設民営）
設計して - 建てる - 管理運営する
 PFI に似た方式ですが、PFI では民間資金を活用するのに対し、DBO 方式では資金調達を公共が行い、設計・建設・管理運営を民間が行います。
 PFI と比べ、金融機関のチェック機能は働きませんが、資金調達コストは下がります。

- ③ **指定管理者**
 民間のノウハウを活用しつつ、サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的として、民間事業者等を「指定管理者」として指定し、公の施設の管理運営を行わせる制度です。

民間活力導入事例

〇八千代市立萱田小学校分離新設校及び総合生涯学習施設整備・運営事業（H17～）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地開発による児童数の増加に伴い、小学校を新設するに当たり、生涯学習機能を含んだ複合施設として、PFI 事業（BTO方式）により建設した。 ・生涯学習機能として、多目的ホール等の専用施設を持つほか、体育館や温水プール、音楽室等の共用スペースは、学校で使用しない時間、一般に開放されている。 ・事業者は、施設的设计・建設のほか、保守点検等の維持管理、施設の一般開放、スポーツ施設の運営、学校用務員業務等を行う。 	 <small>八千代市立萱田南小学校HPより</small>
事業期間	16.5 年（管理運営は 15 年）	
総事業費	約 50 億円（税込）	
VFM効果	約 29%（入札時）	

※ VFM 一定の支払いに対して最も価値の高いサービスの提供を図ること。公設公営に対する LCC の経費削減額を算定することが一般的。